

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議 平成26年度 第1回調整会議 主な意見等について

(平成26年7月1日、市庁舎 大集会室)

関連する会議	介護予防・高齢者活躍推進に関する会議	介護保険に関する会議	地域包括支援に関する会議	認知症対策・権利擁護に関する会議
主な意見	<p>地域包括ケアシステムの構築にあたっては今ある資源を活用することになるので、地域の方に取組みを理解してもらうことが重要。そうすれば地域からいい意見が出てくる。</p>			
	<p>市民に対する啓発とともに、私たち構成員自身も計画のメッセンジャーになるなど行動を起こさなければならない。</p>			
	<p>高齢者自身がシニアライフを楽しむだけ、若い世代に支えられるだけでなく、社会を守り育てていくという積極的な計画ができればよい。</p>			
	<p>高齢者の地域参加の促進には市民センターで活躍している人たちが核にすることが重要である。また、核になる人を育てる学習活動も重要である。既存団体を活用しながら広げていくとよい。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括支援センターの機能の充実・強化を図ることが重要であり、高齢者等の在宅生活を支える関係機関との連携をさらに推進すると同時に各々が果たす役割を整理する必要がある。</p>	<p>市民後見人の養成・活用、後見申立件数が少なく、市民に虐待という意味をどれだけ伝えられているか疑問。高齢者全般の権利擁護を強調していく必要がある。</p>	
	<p>ボランティアについては、男性を含め、多くの人が若い頃から参画できる仕組みが必要であり、ボランティア養成とマッチングが一元化された分かりやすい窓口を検討してほしい。</p>		<p>虐待事例の対応に追われている状況だが、虐待防止が重要であり「虐待を起こさない地域」について考えていきたい。</p>	
			<p>徘徊高齢者の踏切事故で賠償請求される案件があったが、今回のような判決では家族介護者が本人を外に出さないようになってしまうので、事故時の行政補償について検討してはどうか。</p>	
<p>介護保険制度改正で新たに設置される役割の人材確保・育成について ⇒ 人材も含め、本市においてどのような目的で、どのような役割を担うことが最も効果的であるかを検討していく。</p>				

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議 調整会議 構成員名簿

(五十音順、敬称略)

所 属	氏 名	参加分野別会議
認知症疾患医療センター センター長	井田 能成	認知症対策・権利擁護に関する会議
西南女学院大学 教務部長 保健福祉学部教授	○伊藤 直子	介護予防・高齢者活躍推進に関する会議 認知症対策・権利擁護に関する会議
北九州市民生委員児童委員協議会 副会長	財津 康男	地域包括支援に関する会議 介護保険に関する会議 地域密着型サービスに関する会議
市民委員（公募）	正角 道子	介護保険に関する会議
公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会 常任理事	白木 裕子	地域包括支援に関する会議 介護保険に関する会議
認知症・草の根ネットワーク 理事	田代 久美枝	認知症対策・権利擁護に関する会議
市民委員（公募）	徳丸 直登	介護保険に関する会議
一般社団法人 北九州市老人クラブ連合会 副会長	中尾 道子	介護予防・高齢者活躍推進に関する会議
福岡教育大学教育学部 教授	中村 貴志	地域包括支援に関する会議 介護保険に関する会議 地域密着型サービスに関する会議
九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス副学長 リハビリテーション学部教授	◎ 橋元 隆	介護保険に関する会議
九州共立大学スポーツ学部 教授	古市 勝也	介護予防・高齢者活躍推進に関する会議
公益社団法人 北九州市医師会 副会長 若松区保健・医療・福祉・教育・地域連携推進協議会 会長	村上 吉博	地域包括支援に関する会議
公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会 会長	渡邊 正孝	介護保険に関する会議

◎・・・代表、○・・・副代表